



1. 演奏曲 もみじ（輪唱）

作曲者 岡野 貞一

演奏者 草野 文喜

小学校時代の裏山の紅葉、運動会、友達と遊んだ頃を
思い選んでみました。



「紅葉」は、明治44年（1911）に「尋常小学校唱歌」として発表された。昭和26年（1951）から小学校の音楽の教科書に採用され広く歌われ、日本の歌百選にも選ばれている。

低音部が高音部の1小節後ろを追いかけてゆくカノン形式で歌われることが多い、ハーモニーについて勉強する曲でもある。

作詞は高野辰之で、信越本線熊の平駅からの紅葉を眺めこの詞を作った。

岡野貞一には、「故郷」「春が来た」「朧月夜」「春の小川」など沢山の作品がある。



2. 演奏曲
作曲者

ロマンス
N. パガニーニ

演奏曲
作曲者
ミスター・ロンリー
B. ウィントン、G. アラン

演奏者 丸山 登



パガニーニは、イタリアのヴァイオリニスト、ヴァイオリリスト、ギタリスト、作曲家である。5歳からヴァイオリンを始め、13歳で学ぶものが無くなったと云われ、演奏技術は「悪魔に魂を売り渡した代償で手に入れたもの」と云われたほどの名手。

この曲は、大ソナタイ長調の第2楽章でギターとヴァイオリンのための二重奏として作曲された。

「ミスター・ロンリー」は、ボビー・ウィントンとジーン・アランによって作曲され、1964年に全米チャート1位を獲得した。

ホームシックにかかった兵士の心情を綴ったもので、自身の兵役経験がもとになっている。





3. 演奏曲 盗賊の歌

カタロニア民謡

演奏者 山本 周治

カタロニア出身のギタリストでタレガの弟子のリョベート編曲として有名な曲です。カザルスがチェロで弾いた「鳥の歌」が有名ですが、佐藤先生の曲集には「商人の娘」と「聖母の御子」が載っています。

難しい曲ですが頑張ってみたい。



カタロニアはスペイン北東部の自治州で、州都はバルセロナ。交通の要所として古代から栄え、独自の歴史・伝統・習慣・言語をもちカタロニア人としての民族意識を有している。

「鳥の歌」はカタロニア民謡で、クリスマス・キャロルであり、イエス・キリストの聖誕を鳥が祝っている様子を歌っている。



4. 演奏曲 浜辺の歌
作曲者 成田為三

演奏曲 悲しみの礼拝堂
作曲者 ゴメス

演奏者 福崎 實

① 浜辺の歌は、先に林右溪によって詩が出来上がっていいたものに成田為三が曲をつけ、1918年に出版され大きな話題を呼んだ曲。

1947年に文部省が中学生用の教科書に掲載し、平成時代に至るまで教科書に載り続けていることです。我々にとっては大変懐かしい名曲です。

② 「悲しみの礼拝堂」は、2016年に初めて生涯学習センターでの発表会に出演した時に弾いた曲で好きな曲の一つです。



ビンセンテ・ゴメスはスペインのギタリストで「禁じられた遊び」の編曲者。この「悲しみの礼拝堂」には「愛する父に捧ぐ」と補足されていて、父の逝去を悼んで作ったもの。





5. 演奏曲
作曲者

セレナーゼ
シューベルト

演奏曲
作曲者

スペイン風セレナーゼ
フェラー

演奏者

横山 晶子

両曲共、発表会用のテキストから選びました。

「セレナーゼ」は、愛する人の家の窓の下で演奏する音楽で、日本では、「夜曲」「小夜曲」と訳されます。

メロディと伴奏の弾き分けに気をつけ、そして、表情を出すように練習してみました。



「セレナーゼ」は、シューベルト歌曲集「白鳥の歌」の第4曲。シューベルト歌曲の中で最も有名なものの一つで、恋人に対する切々たる思いを歌ったもの。

ホセ・フェラーは、スペインのギタリスト・作曲家であり、「水神の踊り」や「タンゴ」など約100曲を残している。



SPECIAL PRESENT

演奏曲 大利根

作曲者 武井 守成

演奏者 佐藤 茂勝 先生

信濃川、石狩川と共に日本の三大河川と呼ばれ、関東を北から東へと流れ、太平洋へと注ぐ「利根川」を描写したと思われる。

1944（昭和19）年の作品です。



この曲は3部形式の曲。二短調、アレグロで波乱に満ちた細かい音型がうねった後、中間部に入ってからは二長調、ソステヌートで牧歌的とも云える抜けるように明るく大作りな雰囲気に一転し、再び冒頭の二短調の細かい音型へ戻る。二短調と二長調の対立が際だつ曲である。

武井守成は、日本マンドリン、ギター界の草分けの一人で、「微風」「落葉の精」「踊りの小花」などを作曲している。





ありがとうございました。

第8回 ゆかいな仲間の

たのしい音楽会



時・2021.12.17

所・スタジオ・エンザ